

## コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の両輪で

本年度、市内の全ての小中学校で取り入れた「学校運営協議会」は、地域の声を学校運営に反映し、学校と地域が一体となって学校づくりを進めていくもので、この制度を導入した学校を「コミュニティ・スクール（略称CS）」と呼びます。

また「地域学校協働活動」は、地域住民が学校へ、そして児童生徒が地域へ参画することで、地域全体で子どもたちの成長を支える活動で、昨年度から、モデル的に高島中学校区で取り組みをスタートさせました。本年度はすべての中学校区に、この活動を広め、地域学校協働活動推進員（通称コーディネーター）を配置し、学校や地域の特色を生かした取り組みを進めています。



金曜日放課後の地域の方による  
学習支援（マキノ地域）



地域と学校による合同運動会  
（朽木地域）

## 子どもの元気を地域へ

子どもたちの「生きる力」は、様々な人々と関わり、さまざまな経験を重ねていく中で育まれていくもので、学校だけで育まれるものではありません。地域社会とのつながりの中で絆を育み、豊かさ、たくましさ、を身につけていきます。世代を超えたコミュニティが形成されることで、地域の中でよりどころとなるつながりが生まれ、ふるさとを大切にすることも育ちます。

- 例えばこんな活動も
- ・地域伝統行事に学校から参加、協力
- ・吹奏楽部による福祉施設への出前演奏会
- ・昔遊びによる小学生と高齢者の交流

「地域学校協働活動」には、「子どもを見守り、育てよう」という同じ思いをもって参画する大人が必要で、す。そして、CSで話し合われているビジョンや目標を共有し、二つが車の両輪となって地域とともにある



学校運営協議会で講師を招いての  
CS研修（今津地域）

## つながり 響き合う教育を

## 特集2 地域×学校の協働で



地域の行事に吹奏楽部が出演  
（新旭地域）



☎ 社会教育課  
☎ (32) 4457  
☎ 学校教育課  
☎ (32) 4471

学校づくりを進めていかなければなりません。コーディネーターも学校運営協議会に参加し、ともに議論を深めています。

## 地域の力を学校へ

地域学校協働活動とこれまでの学校支援との違いは、「支援」だけでなく「連携・協働」することです。これまでの活動をベースに地域と学校が双方の関係のもと、子どもの成長を軸に地域社会の活性化を図ることを目指します。

- 例えばこんな活動も
- ・教員OBによる定期考査前の学習支援
- ・学校図書室のリニューアル
- ・地元有志による学校の環境整備



有志の方による環境整備作業  
（安曇川地域）



九九道場では、地域の方が  
暗唱を確認（高島地域）

## 「子どもたちのために」 「学校、地域のために」 そんな志が集まる活動へ

学校運営や教育活動への参画を通して、地域の人々が集うことで、学校が社会的なつながりを得られる場となり、子どもを含め、そこに住むすべての人にとって地域のよりどころになります。

また、つながり合うことで子どもたちが地域の活動へ参画する機会も増えていきます。

この取り組みが、学校のためだけでなく、10年後、20年後の地域の担い手を育てる「つながり響き合う教育活動」として続くように、皆さんのご協力をお願いします。

## コーディネーターと活動拠点

## あなたの地域の



マキノ 谷口 良一さん  
《マキノ公民館》



今津 福田 龍己さん  
《今津東小学校 はなまる広場》



新旭 三田村 治夫さん  
《湖西中学校 かくしじしんじつ 学而事人室》



朽木 駒井 佐和子さん  
《朽木東小学校 やまびこルーム》



安曇川 梅村 頼子さん  
《安曇川中学校 安中カフェ教室》



高島 中村 真奈美さん  
《高島学園 地域学校協働本部》